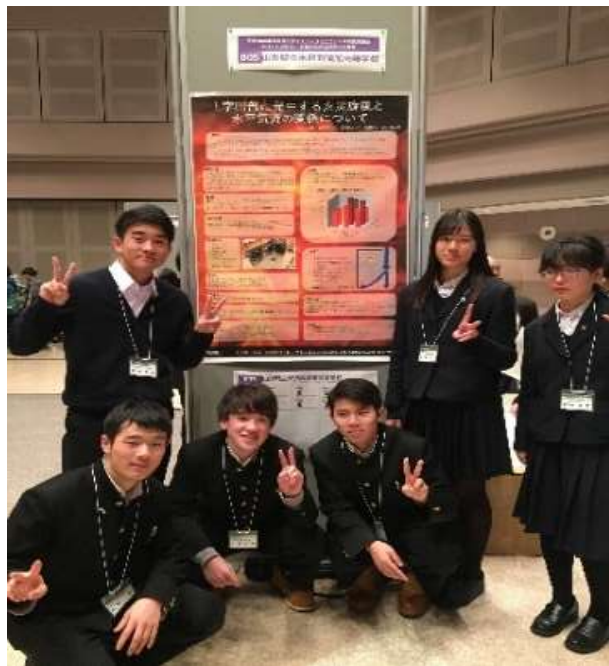


米沢興讓館高校SSH通信

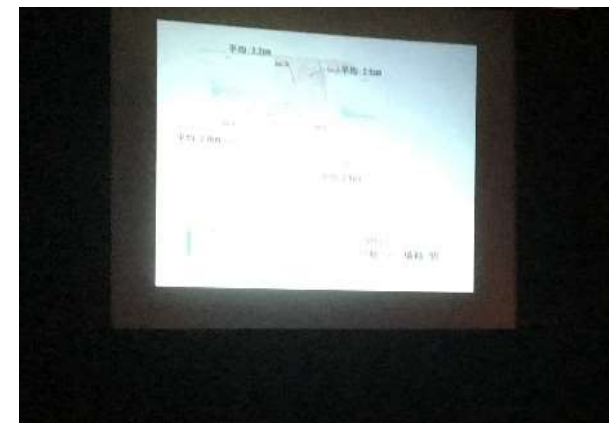
東北地区サイエンスコミュニティー研究発表会



「字凹部に発生する火災旋風と水平気流の関係について」
 水の可能性」

東北地区6県のSSH指定校など、自然科学等の課題研究に取り組んでいる高校生が、授業や部活動で取り組んできた研究成果を発表し、発表者との対話を通じて相互評価を行うことで研究のレベルアップにつなげる。さらに、新たな価値を創造し、国際的課題を解決する人材となる高校生らの研究活動を支援する地域の体制づくりに繋げる。ことを目的に、平成30年度東北地区サイエンスコミュニティー研究発表会（東北地区SSH指定校課題研究発表会）が、平成31年1月24日～25日に宮城県の日立システムホール仙台（仙台市青年文化センター）を会場に行われた。本校からは、SSR中間発表会での以下の上位3チームが出場した。その模様を紹介する。

口頭発表
 礫岩の粒径・古流向から成島丘陵の過去を探る」
 ポスター発表
 「字凹部に発生する火災旋風と水平気流の関係について」
 水の可能性」



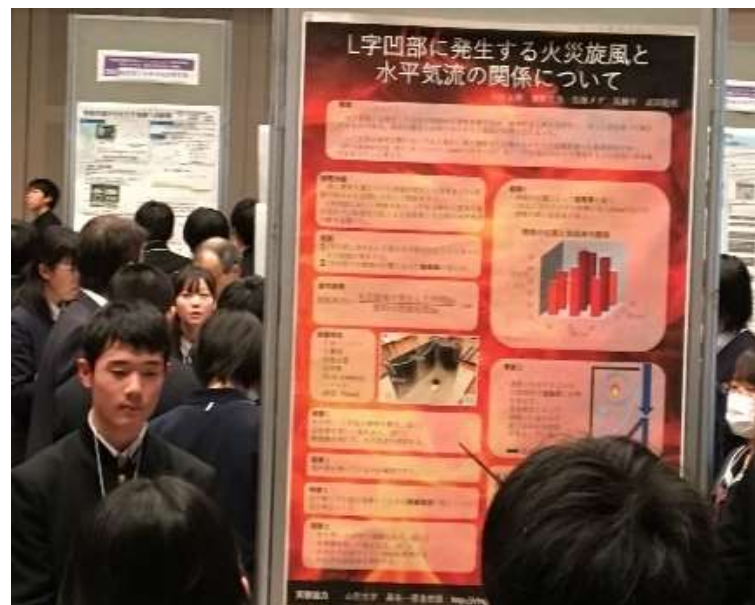
私は今回、東北地区サイエンスコミュニティー研究発表会に参加し、礫岩の粒径・古流向から成島丘陵の過去を探る」という題目で口頭発表を行いました。さすがは東北のSSR代表校の集まりで、発表内容の濃さが一段階ぐらい違ったと思いました。

発表では、スライド機器にトラブルが起り、満足できないような発表をすることができませんでした。しかし、これも一つの経験ととらえて、再びスライドによる発表の機会が得られるようにがんばっていきたくです。併せて、機器のトラブルが生じてあせらない器量とパソコンのスキルを確実に身につけていきたいです。

余談ですが、仙台の高校には制服がないということを知りました。大学生のアルバイトかと思いました。



仙台での発見
 二年 理数科 女子



東北地区のSSR代表校が集まるということもあり、どの研究内容もレベルが高いものが多かったです。自分たちは、聞き手側にわかりやすく伝えるように結果や考察を丁寧に説明することを意識しました。

残念ながら、入賞することはできませんでしたが、良かったことは他県のレベルを認識することができたことです。三月の校内発表会では良い成果が得られるよう、さらに深く研究して、神戸で行われる全国大会出場に向けての足がかりとしたいと思います。



東北大会を経験して
 二年 理数科 男子



一月二十四・二十五日に私を含め生徒十一人は、東北地区のSSH指定校課題研究発表会に参加しました。私のグループは「水の可能性」という題目でポスター発表を行いました。参加校は、東北全域から選出された高校だけに研究内容やポスターの質が今まで見てきたものよりも高く、正直圧倒されましたが受け身にならず堂々と発表することができました。また、他校の生徒と交流する時間もあり、研究について視野を広げることができました。

この発表会を通して、私たちの発表の長所や改善点が明らかとなり、これからの方向性を定めることができました。刺激を受け、新たな決意を胸に三月の本校での発表会に向けて探究していきたいと思えます。



新たな決意
 二年 普通科 男子

